

**「共生地域の実現を目指して」  
みんなで 見守り プロジェクト**

東京都立八王子特別支援学校PTA

「共生地域の実現を目指して」

# みんなで 見守りプロジェクト

## 1 取組の背景

---

八王子市について

本校50年の歴史

この地で育ち この地で生きる

安全部会の発足

## 2 理解啓発リーフレット（緊急時の支援）

---

いちばんに伝えたいこと 校内アンケートの実施

アンケートの回答より

リーフレットができるまで

みんなで見守りプロジェクト リーフレットの誕生

リーフレットの配布… 多くの協力を得て

反応と反響 = 保護者の報告から

## 3 この子たちの「良さ」を知ってほしい

---

2016年7月22日の出来事

手作りカレンダーを届けよう

美術作品の展示

## 4 共生地域の実現を目指して

---

学校の移転を控えて

調査研究で得たこと

今後の課題



# 1 取組の背景

## 東京都 八王子市について



八王子市は、東京都心から西へ約 40Km、新宿から電車で約 40 分の距離に位置しています。平成 27 年 4 月に東京都で初の中核市となり、平成 29 年には市制 100 年を迎えます。市内に 21 の大学を抱え、若い世代の人口が多い学園都市でもあります。

- 人口：約 58 万人（東京都の市では第 1 位）
- 面積：約 186 km<sup>2</sup>（ “ 区市町村で第 2 位）

JR 八王子駅前のマルベリーブリッジ

（ときどきテレビの天気予報・ニュース等で放映されます）

## 本校 50 年の歴史

昭和 41 年、八王子市の中心である台町 3 丁目に東京都で 3 番目の知的障害教育校として八王子養護学校が開校しました。当時、養護学校義務化以前にあって、近隣住民からの反対も少なく、寛容に受け入れられ、寄宿舎で足りない物資が持ち寄られた、とのエピソードが残っています。平成 20 年に八王子特別支援学校に名称変更され、開校以来、質の高い教育の歴史と伝統が受け継がれています。

- 平成 28 年度在籍者数

小学部	140名
中学部	84名
高等部	212名
合計	442名

平成 9 年に改築された現在の校舎



## この地で育ち この地で生きる

現在、八王子特別支援学校には小・中・高合わせて440名余りの児童・生徒が、八王子市内のほぼ全域から通っています。

小・中学部にはスクールバスが配車され、広い地域からの通学が保証されていますが、高等部の生徒は卒業後の自立と社会参加に向けて、実態によっては保護者の見守りや付き添いといった支援を受けながら、一人通学に取り組んでいます。

生まれ育った地域で、あるいは地域を拠点として、その人らしく、あたりまえの生活を営むことができるために、学齢期から自分の足で歩くことで就労に向けた体力を養い、公共の交通機関を利用することで社会のルールやマナーを身に付けていく必要があります。



自宅から学校までの距離によっては、徒歩や公共の交通機関を利用して1時間以上かかる生徒もいます。小学部のうちから担任の先生や保護者の協力のもと、一人通学練習を進めていますが、生徒にとって慣れた道のりであっても、自然災害などが発生した場合、不測の事態に対応することは困難です。

東日本大震災の折には、電車が止まり、一時駅で立ち往生してしまった生徒もいました。緊急時には、周囲の人々による生徒への声掛けなどの支援が不可欠になります。日頃から地域に向けて、障害への正しい理解啓発を行い、より良い関係作りを進める必要があると多くの保護者が実感しています。

## 安全部会の発足

通学を主とした児童・生徒の安心・安全な社会参加に向け、地域への障害理解啓発を行う「安全部会」が前年度・今年度のPTA役員有志11名により発足しました。居住地を中心に働きかけることができるよう、市内を5つのエリアに分けて、優先課題を検討した結果、本校の児童・生徒の特性を地域の人々に知っていただくために、リーフレットを作成することになりました。



市内の地図をもとにエリア分けを行う安全部会の様子

## 「みんなで 見守りプロジェクト」起案

資料1

平成28年3月17日  
PTA安全部会・準備委員会資料

共生地域の実現を目指して  
「みんなで 見守り」プロジェクト(案)

### I: 地域の中で障害への理解を広めるための取組

#### 1. リーフレットの配布、アンケート実施

	内 容	配 布 先	配 布 時 期
リーフレット	本人が困っていたら、連絡をお願いします	ピーボクンの家 警察、交通機関、商店 保護者の希望先	5～6月 7月中旬～下旬
アンケート	障害を持つ人について、知りたいことは?	ピーボクンの家 交通機関、商店	5～6月 7月中旬～下旬



#### 2. 地域に向けて講演会の実施

知的障害・自閉症への理解を広める、一人通学・運動の意義に理解を深める

#### 3. 駅周辺の銀行、商店等に本校児童・生徒の絵画・書道作品の展示を依頼

・展示にふさわしい作品を美術科の先生にリサーチ。  
(本人・保護者の承諾も同時に行う)  
・たましん、郵便局など、地域の金融機関や商店で  
通した場所を抽出、リーフレットを持参し立寄を説明の上、展示させていただく。

渉外担当 ★3～5名  
一般会員にも呼びかけ  
安全部会・全役員で協力



### II: 一人通学の不安を軽減するための取組

1. 通学路の道路や交通状況等、安全確保の難しい箇所及び、災害発生時の支援について、本校生活指導部と連携し、関係機関へつなぐ。

・4月の校内アンケートで、課題の調査  
・移動後の新校舎周辺についての調査

★アンケート集約3名

★浅川地区調査隊

### III: 保護者に向けての取組

1. 位置検出機能(GPS/PRS)を安全確保についての学習会を実施する  
※ 時期・講師については学校と調整

### IV: 協力要請を行う関係機関について

- ◆ 八王子市障害者福祉課・六法人の会
- ◆ 八王子市教育委員会・小P連・第7小学校・第6中学校  
八王子第3小学校・八王子実践高校



### 「みんなで 見守り」プロジェクト 年間計画(案)

	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3月
校内アンケート配布	リーフレット配布		校内アンケート1回目									
第1回 部会		第2回 部会			第3回 部会		第4回 部会				第5回 部会	
→ 美術作品展示への活動 ←												
→ 浅川地区調査隊 ←												

## 2 理解啓発リーフレット（緊急時の支援）

### いちばんに伝えたいこと 校内アンケートの実施

資料 2

「あなたのお子さんについて、地域の人々にいちばん知ってほしいことはどんなことですか？」

理解啓発リーフレット作成にあたり、全校保護者に向けてアンケートを実施しました。

平成28年4月27日

PTA 会員・保護者の皆様

東京都立八王子特別支援学校  
PTA 会長 佐々木 美和  
安全部会代表 井上 由加里

#### 「理解啓発リーフレット」作成にあたりアンケート御協力をお願い

日頃より PTA 活動への御協力ありがとうございます。  
この度、PTA の新しい取組「みんなで見守りプロジェクト」として、児童・生徒がこの地域で育ち、社会参加を果たせるよう、関わりのある方々に特性を御理解いただく目的でリーフレットの作成・配布を行います。

つきましては、会員の皆様に御意見を伺いたく下記のアンケートに御記入の上、担任の先生に御提出くださいますようお願いいたします。



作画 小学部保護者 Hさん

※御記入いただいた内容については、本プロジェクトの運営にのみ使用し慎重に取扱います。

（アンケートについてのお問合せは、中 1-1 井上 xxx-xxxx-xxxx

き り と り

#### アンケート回答用紙

締切・平成28年5月13日（金）

① 「理解啓発リーフレット」に最も記載してほしいことは何ですか？（複数可）

例：本人が困っていたら、学校に連絡してほしい、保護者に連絡してほしい 等

② 「理解啓発リーフレット」を届けたい所はありますか？（複数可）

例：駅、コンビニ、スーパーマーケット、小中学校、副都立校、高校、大学、医療機関 等

③ その他 自由意見

（差支えなければ、所属学年と保護者の氏名を御記入をお願いします。）

小学部 年 組 お子様の氏名

保護者の氏名

御協力いただきありがとうございました。

御意見をもとにリーフレット内容・配布先を検討させていただきます。

担任の先生⇒職員室PTA ボックス⇒PTA 安全部会

## アンケートの回答

アンケート回収数

小学部	中学部	高等部	無記名	合計
22	10	11	10	53

設問①「理解啓発リーフレット」に最も記載してほしいことは何ですか？

連絡してほしい（保護者・学校・警察に）・助けてほしい

困っていたら・一人でしたら・様子がおかしかったら、

良くないことをしていたら 災害時 その他

障害特性について、わかりやすく記載してほしい

こんなことが苦手 大きな声を出してしまう 迷惑をかけてしまう

ひとりひとり違う その他

支援の方法について

正面からゆっくり話しかけて 絵や写真で示して 見通しをもたせて その他

設問②「理解啓発リーフレット」を届けたい所はありますか？

- ・ 駅 (18名)
- ・ コンビニ (12名)
- ・ スーパー (12名)
- ・ 小中学校 (13名)
- ・ 副都庁 (10名)
- ・ 高校 (12名)
- ・ 大学 (11名)
- ・ 医療機関 (16名)
- ・ 放課後ディサービス
- ・ 保育園・幼稚園 (3名)
- ・ バス会社 (8名)
- ・ 交番・警察 (9名)
- ・ 自治会
- ・ 全家庭 (2名)
- ・ 公共施設 (5名)
- ・ 商業施設 (4名)
- ・ 床屋
- ・ 動物園
- ・ 公園 (2名)
- ・ 近くのハイキングコース・登山口
- ・ 近所 (2名)
- ・ 大竹学園
- ・ 盲学校
- ・ マクドナルド
- ・ 島田療育はちおうじ
- ・ 郵便局 (2名)
- ・ 西八王子周辺の商業施設
- ・ タクシー会社
- ・ 通学道路沿いのお店や学校
- ・ 銀行
- ・ 普段から利用している所
- ・ 消防署
- ・ 公民館

・ 日常使用する、バス・電車のルート担当者と、バス電車の本部事務所の両方。

・ 地域の交番、およびその管轄する警察署の両方。

・ 地域の消防署と管轄する消防本部の両方。

設問③ 自由意見

- ・ 副都庁交流先の児童・生徒だけでなく保護者にも見てほしい
- ・ 自宅周辺の方（御近所さん）にも理解してほしい
- ・ リーフレットの配布は父親（男性）が行くと有効
- ・ 外国の方にも理解啓発が必要だと思う
- ・ (子供が) パニックを起こしている場合、「大丈夫？」と声掛けしてくれてもどうにもならない時もあるので、速くから見守ってほしい
- ・ 障害のある児童・生徒には社会に役に立つ力も備えていることも理解啓発に加えてほしい

## リーフレットができるまで

1. 安全部会では、自分たちのリーフレットを作成するために、これまでに行行政や障害者団体、他校 PTA によって制作された障害の理解啓発リーフレットを持ち寄り、内容を検討しました。その結果、
  - ① 伝えたいことはたくさんあるが、長い文章は NG（読んでももらえない）
  - ② サイズは A5、シンプルに
  - ③ 手に取ったら、「つい、読みたくなる」インパクトを
  - ④ 捨てずに保存してもらえるようなデザインにという意見で一致しました。
2. 標題については、当初「どうしたの？ あなたの助けが必要かもしれません」で進めていましたが、手に取って読んでいただく際、より具体的なメッセージにするため

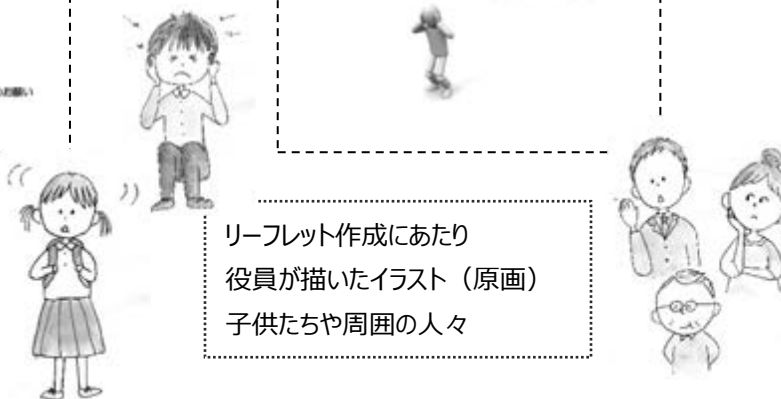
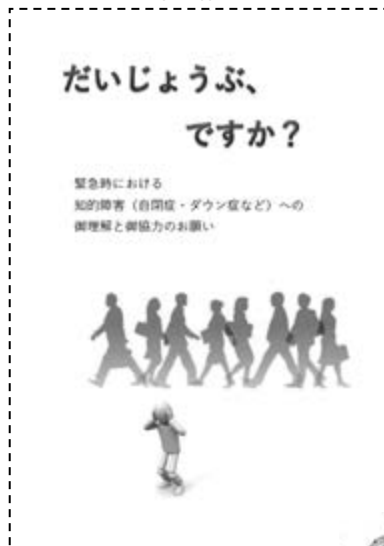
### 「だいじょうぶですか？」

緊急時における知的障害（自閉症・ダウン症など）への御理解と御協力をお願い」に変更しました。

【リーフレット 第 1 案 リュックを背負った男の子】



【リーフレット 第 2 案 雑踏で耳をふさぐシルエット】



リーフレット作成にあたり  
役員が描いたイラスト（原画）  
子供たちや周囲の人々



## みんなで見守りプロジェクト リーフレットの誕生

- 八王子市内の警察署、市役所障害者福祉課より助言を受け、記載内容を決定しました。  
手描きのイラストをもとに、本校高等部の吹上由加里先生がデザインを引き受けてくださり、美しいリーフレットが完成しました。

### 《リーフレット表紙・裏表紙》

- ① 知的障害のある児童・生徒が一人で迷っている様子をイラストにしました。名前や連絡先がわからない時は警察署に連絡してほしい、その際、電話での伝え方について、警察署の担当者から提案された文言が記載されています。

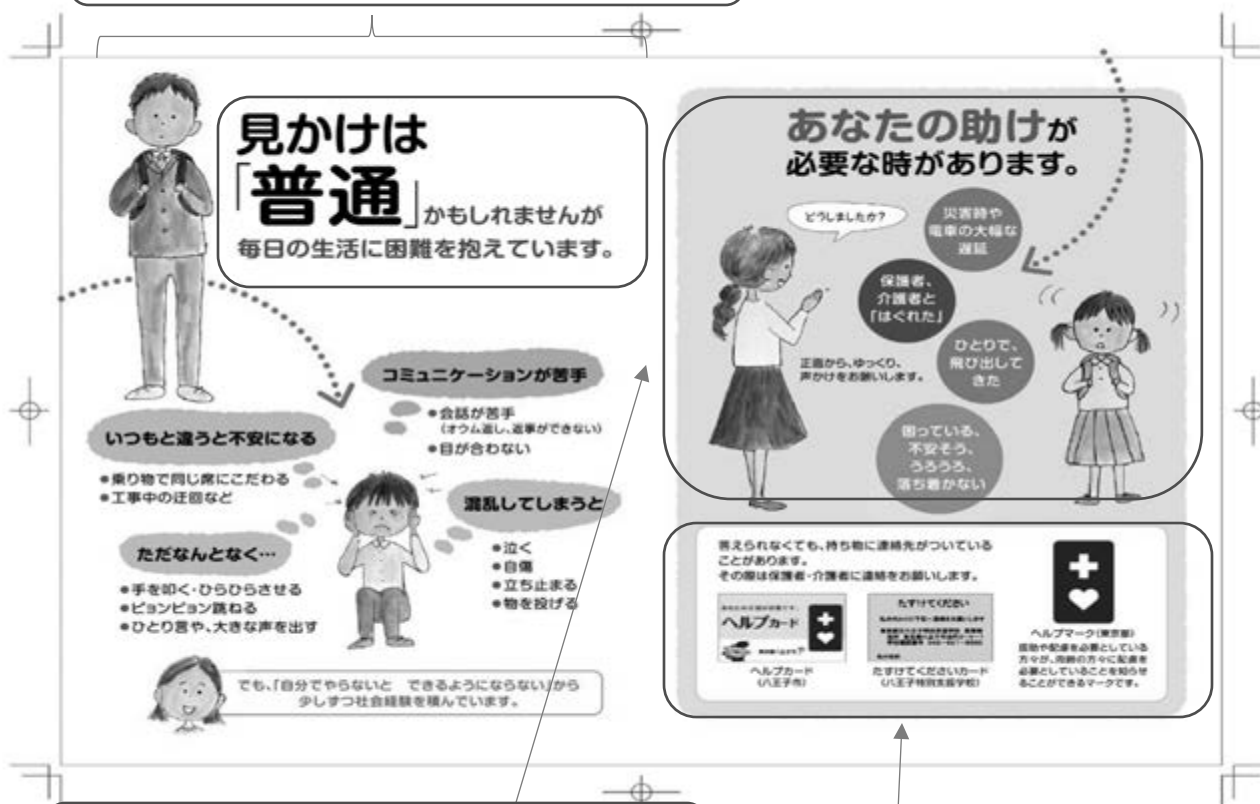


- ② 支援機関として、学校、市役所、子ども家庭支援センターに御協力をお願いしました。
- ③ 障害特性や本人への対応のポイントなどを記載した QR コードをつけました。

※ 平成29年2月12日(日)朝日新聞 東京版・デジタル版にて「みんなで見守りプロジェクト」リーフレットについての紹介記事が掲載されました。

◀リーフレット中面・見開き▶

① 左側のページには知的障害の見かけでわかりにくい点や行動の特性について記載しました。



② どんなときに声かけが必要か  
どのように話しかければ良いか、ポイントを記載しました。

③ 周囲の人に障害のあることを示すカードの紹介として 掲載しました。

左から

ヘルプカード (八王子市) ・ たすけてくださいカード (本校) ・ ヘルプマーク (東京都福祉保健局)

(※担当部局に原稿の段階で承認いただいています。)

## リーフレットの配付… 多くの協力を得て

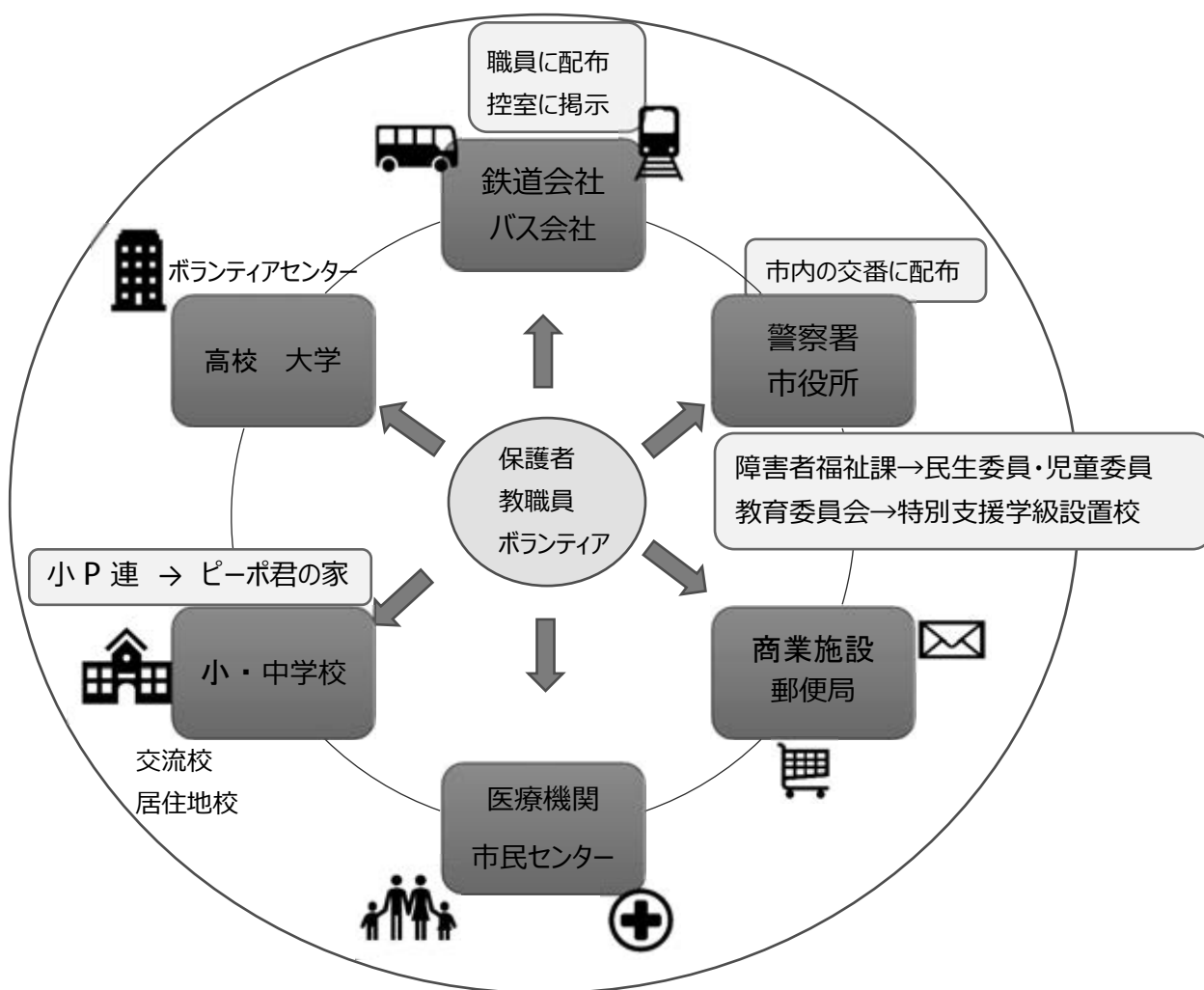
- できあがったリーフレットを、どこから、どのように配付するか、安全部会で優先順位を検討しました。

### どこから？

- 児童・生徒が利用する（通る、お世話になる）頻度の高いところから
- 地域安全への関心の高い人々から

### どのように？

- できる限り
- 人の手を介して
  - フェイス トウ フェイス で



●地域の協力による配付

協力機関	配付先	部数
八王子市教育委員会	支援級設置校	1568
障害者福祉課	民生員・児童委員	450
	社会福祉協議会	20
八王子市立第6中学校	全校配布	700
八王子市立第7小学校	全校配布	600
都立拓真高校	-----	100
八王子警察署	交番	200
高尾警察署		
南大沢警察署		
八王子市小P連	ピーポ君の家	1000

●安全部会による配付

お届け先	部数
コンビニ	47
スーパー	77
病院・医院	23
市民センター	38
JR東日本	20
京王電鉄	50
西東京バス	30
京王バス	30
郵便局	55



安全部会による配付の様子



## 反応と反響…保護者の報告から

資料 5

夏休み明けの9月、一般会員の保護者に向けリーフレットお届けの希望を伺い、児童・生徒の連絡帳を通して、必要な部数を渡しました。リーフレットのお届けは個々の都合に任せましたが、事後にお届けの様子を報告してもらいました。

「保護者によるリーフレットの配付内訳」

コンビニ	17
郵便局	3
スーパー	10
病院・医院	12
副籍交流校	2
その他	81

平成28年9月吉日

PIA会員・保護者の皆さま

東京都立八王子特別支援学校  
PIA会長 佐々木美知  
安全部会代表 井上由加里

「みんなで見守りプロジェクト」リーフレットのお届けについて

日頃よりPIA活動に御理解・御協力いただき感謝申し上げます。  
PIA安全部会この秋の取組として、会員の皆様によるリーフレット（7月に見本として配布済み）のお届けを募集いたします。身近な場所（お住まいの地域やよく行かれる場所など）へ個人的に届けたいという希望がありましたら、下記の用紙に必要事項を御記入の上、**9月30日（金）までに**御提出ください。  
安全部会にて検討させていただいた後に、担任の先生を通して、事後の簡単な報告フォームと共に必要部数のリーフレットを差し上げます。  
※お届けの量を増やすため、行先は分かりやすく（スーパー・コンビニ等は支店名まで）ご記入ください  
※既に御周知しております通り「みんなで見守りプロジェクト」の主旨に賛い、SNS等利用しての情報公開は御遠慮くださいますようお願いいたします。

お問合せ： PIA安全部会代表  
中ト1 井上由加里

配

キリトリ

小・中・高 年 組 名前

★お届けしたい場所（スーパーなどは支店名まで）

- 
- 
- 
- 
- 
- 
- 

必要部数 \_\_\_\_\_ 部

### 保護者の報告から（抜粋）

- コンビニ① … オーナーさんに渡すと、誰にでも見られるように、とパウチまでしてくれた
- コンビニ② … よく理解されていて、バイト店員に見せると言ってくれた
- コンビニ③ … 店長不在の為、店員が受け取る。とても好意的だった。
- ドラッグストア … 「店のみんなで読みます」と気持ちよく受け取ってくれた。
- スーパー① … 店長に渡す。社員に回覧して知識を高め協力してくださるとのこと
- スーパー② … 快く受け取り、すぐに中を読んでいた
- 市民センター① … 「職員の中で活用させていただきます」との返事
- 市民センター② … 「とても必要なこと」とのコメントをいただく
- 歯科 … (リーフレットを見て)「すごいですね！」とのコメント
- 皮膚科 … 子供と一緒に渡す。さっそく見てくれた。
- カフェ … 「やはり、まずは知ることからですね」とのコメント
- クリーニング店 … ヘルプマークを知らず、リーフレットを渡して喜ばれた
- 保育園・小学校・商店 … ヘルプマークを見たことがない人が多く、周知の必要を痛感

### 3 この子たちの「良さ」を知ってほしい

---

#### 2016年7月26日の出来事

学校が夏休みに入った翌週の7月26日（火）小雨の残る早朝、テレビのニュース速報で流れたテロップを読み、しばらくは何か起こったのか理解できませんでした。

『神奈川県相模原市の障害者施設「県立やまゆり園」に刃物を持った男が侵入、眠っていた入所者を次々に刺し、重傷者が病院に運ばれている』（・・・障害者を？刃物で？）

時間を追うごとに被害者として報告される数は増え、午前中のうちに19人の死亡が伝えられました。「人が人を刺し殺す」という動機には、強盗、怨恨、防御、心中、以外想像できず、そのどれにも属さない、無抵抗な人への無差別殺傷事件の報道に言葉を失いました。多くの人は、これに似た感覚を持ったと思います。

障害のある人は、確かに様々な支援を必要とするけれど、共に生きる上での困難さも確かにあるけれど

しかし・・・“障害のある人を憎しみ、恨みの対象にすることがあるのだろうか？”

生きる上での困難さを一番感じているのは、障害のある本人であって、それでも懸命に毎日を生きている、そんな彼らの笑顔やひたむきさに助けられた経験のある人は少なくないはずです。想像を絶する、決して許すことのできない凄惨な事件について、夏休みの間、PTA 役員同士で連絡を取り合うことは可能であっても、言葉にすることはできませんでした。それくらいの衝撃でした。さらに日を追うごとに加害者について報道されるようになり、その発言への反駁が強くなっていきました。

**「障害者はいないほうがいい」** 精神疾患のある加害者の言葉とはいえ、耳を塞ぎたくなる思い。

けれどそれに同調するようなネット上の書き込みも存在するのが現実でした。

**“私たちの子供は「困った」面だけではなく良い面もたくさんもっている。それを社会に伝えなければ。”**

緊急時に一声かけてもらうためのリーフレット配付の次に、私たちは新たな取組を模索し始めました。

## 手作りカレンダーを届けよう

- 障害理解啓発の新たな取組として、児童・生徒の自由な感性を多くの人に知ってもらうため、学校や家庭で作った造形・絵画の写真をカレンダーに掲載し、リーフレット配付の際に協力いただいた機関を中心に、届けることになりました。

### 「カレンダープロジェクト手順」

- ① 作品の募集
- ② データの取込み (CD 写真をスキャン)
- ③ カレンダーフォーム (日付) の取込み  
(ネットで検索してダウンロード)
- ④ word で作成
- ⑤ チェック・校正
- ⑥ 紙購入・印刷
- ⑦ プラスチックリング購入
- ⑧ 製作→完成

### 「注意した点」

写真データ掲載にあたり制作児童・生徒の氏名・イニシャル等の記載について、申込時に本人と保護者の意思確認を行いました。

### 「募集要項」

資料 6

平成28年10月14日

PTA 会員の皆様  
東京都立八王子特別支援学校  
PTA 会長 佐々木美和  
安全部会代表 井上山加里

みんなで興味のプロジェクト

## 2017 カレンダーを地域にお届け

児童・生徒の作品を募集します！

日頃より PTA 活動への御協力ありがとうございます。

このプロジェクトは、地域の方々に本校児童・生徒の豊かな感性を知っていただくために、郵便局や市民センター等へ、児童・生徒の絵・工作・書道作品の写真を掲載したオリジナルカレンダーをお届けするものです。

お気に入りの作品を写真に撮って、カレンダーに残してみませんか？たくさんの御応募をお待ちしております。(応募された方には、御家庭用にもカレンダーを一部差し上げます。)

ここに作品の写真を入れます

カレンダーイメージ

お届けイメージ

御自宅の近所にある、郵便局、市民センターなどに保護者と児童・生徒で届けてくださる方も同時に募集します。カレンダー作品の応募のみ、お届けのみ、どちらも可能です。※その他の応募要領は裏面を御覧ください。

お届け方法	お届け先
手渡し (PTA 役員)	八王子市障害者福祉課 ・ 八王子市教育委員会教育支援課 駅前の交番・市民センター 主要な郵便局 ハローワーク
手渡し (児童・生徒・保護者)	学童擁護員 居住地の商店
郵送	学校運営連絡協議委員 校医 (内科・耳鼻科・歯科)

# ●みんなで 見守りプロジェクト 2017カレンダー

2017 1

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
	1	2	3	4	5	6
8	9	10	11	12	13	14
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

2017 4

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
						1
2	3	4	5	6	7	8
				13	14	15
				20	21	22
				27	28	29

2017 6

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

2017 7

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat

2017 8

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat

2017 12

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
						1
						2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

下校時 高等部生徒が学童擁護員さんに  
カレンダーを渡しました。



## 美術作品の展示

- 児童・生徒の豊かな感性を知ってもらうために、市民センター、病院、郵便局など、多くの人々が集まる場所に美術作品の展示を行いました。一定の期間行う「企画展」型式ではなく、空きスペースの有効利用として常設してもらうことを目標としています。

資料 7

平成28年12月吉日

様

東京都立八王子特別支援学校  
PTA 会長 佐々木美和  
安全部会代表 井上由加里

### 「みんなで 見守り プロジェクト」 美術作品 展示のお願い

はじめまして。東京都立八王子特別支援学校のPTAです。

今年度、本校PTAでは、地域への障害理解啓発を目的とした「みんなで見守りプロジェクト」を推進しております。

その一つとして、地域の皆様が訪れる場所をお借りし、本校児童・生徒の豊かな感性あふれる美術作品を多くの方に御覧いただく取組を行っております

要領は下記の通りとなります。店舗・施設等に少しの空きスペースがございましたら、展示が可能かどうか、ぜひ御検討くださいますようお願い申し上げます。

#### 記

1. 実施期間 1作品につき、2週間から1か月程度
2. 展示方法 A：作品の写真パネルを壁面に掲示  
B：イーゼル型のディスプレイを設置  
※写真の例を御参照ください。  
場所の御都合により上記以外の展示方法も考慮させていただきます。
3. アンケート 今後の取組の参考にさせていただきたく、作品展示後に、来場者の反響をアンケート形式でお伺いしますので、御協力いただければ幸いです。

〈御問合せ〉 ×××-××××-×××× 佐々木まで



壁面パネル イメージ



イーゼル展示 イメージ

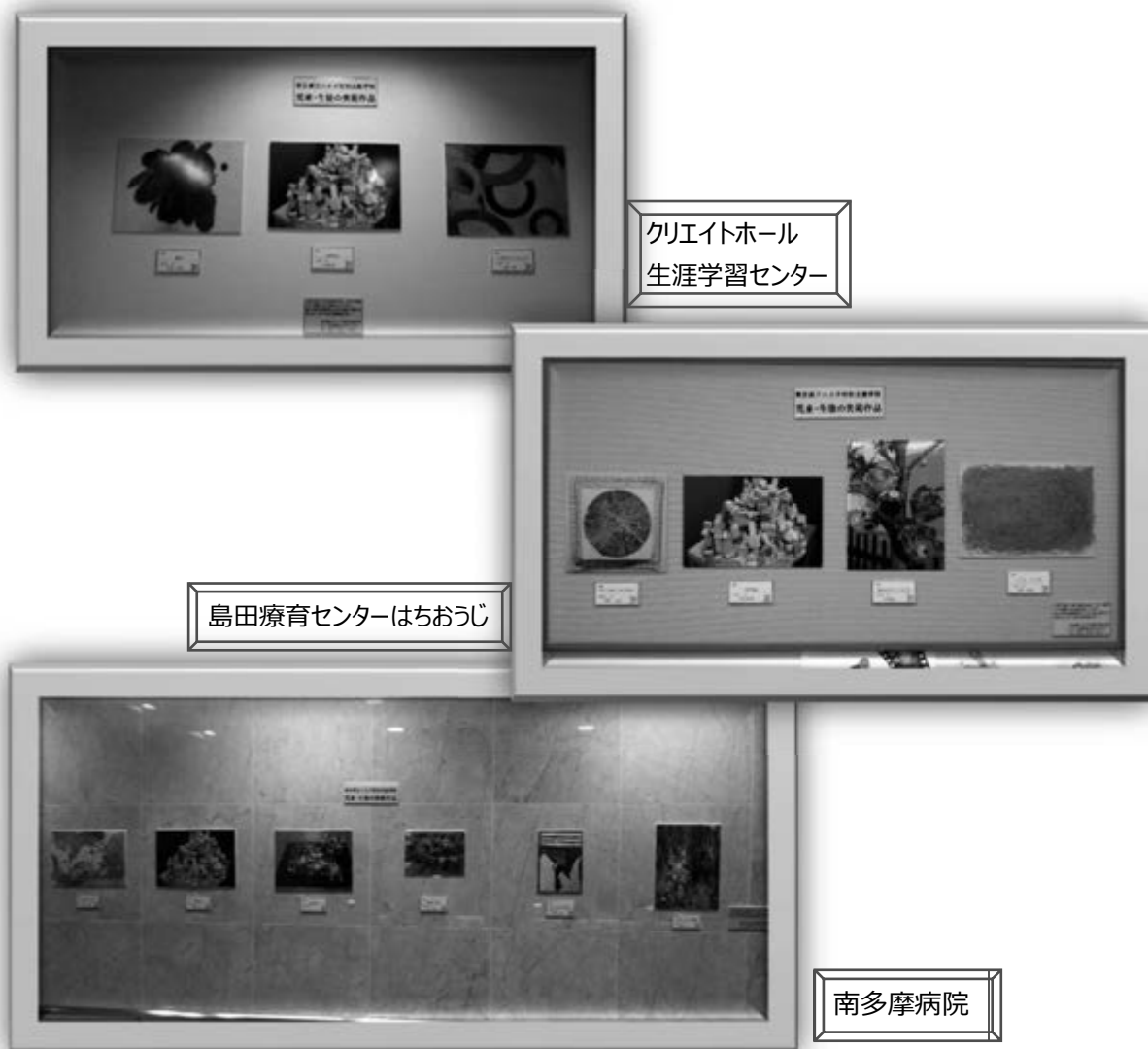
## 「展示の手順」

- 学校の授業で制作された図工や美術の作品の中から、優れたもの、豊かな感性の伝わるものを美術科の先生が選び、本人・保護者の承諾を得た上で、安全部会が写真データとして預かります。
- 「展示できます」と連絡のあった施設と、展示場所、期間等の打合せを行い、預かった写真データをパネル加工して、展示します。

季節感を考慮して、1～2か月ごとに作品の入れ替えを行います。

## 「反響」

「殺風景だったので、明るくなって良かった」「とても良い取組」と喜んでいただいています。



## 6 共生地域の実現を目指して

### 東浅川地区の新校舎へ

- 本校は児童・生徒数の増加による教室不足の深刻化から、東京都特別支援教育第3次実施計画のもと、平成32年共用に向け、八王子市東浅川町に新校舎の建設を行っています。  
今後は、現在の校舎と新校舎の両方で、八王子市の児童・生徒を受け入れることになります。  
(平成29年2月現在、学校の名称・学区の分け方等は未定)
- 現校舎のある台町地区は、比較的古くからの低層階の住宅や学校、公園を中心とした住宅街ですが、東浅川地区はJR中央線の終点「高尾駅」が近いことから、都心への通勤者も多く高層階のマンションが複数立並び、今後若い世代も増えていく可能性があります。
- 新しい校舎ができる地域に
  - ・児童・生徒の行動特性（緊急時に支援を要すること）
  - ・特別支援教育の必要性
  - ・卒業後の自立と社会参加の重要性これらを理解いただけるよう働きかけていく必要があります。



JR・京王高尾駅



高尾駅南口 ローター



建設中の校舎

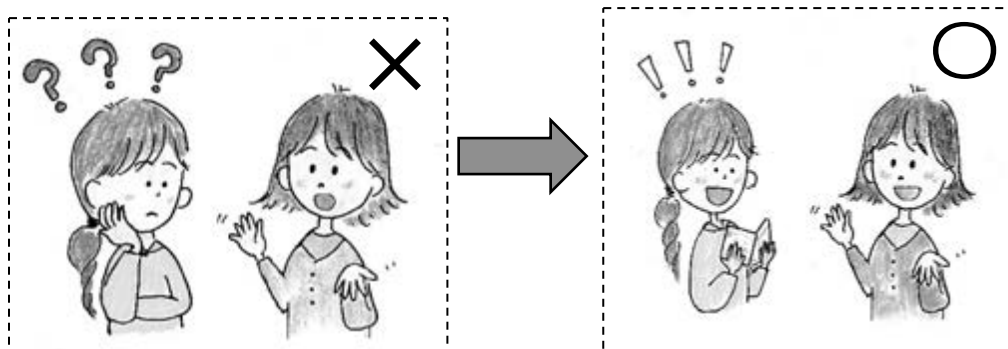
## 調査研究で得たこと

### ● 地域・関係する機関からの協力

児童・生徒が1日の中で関わるあらゆる人々を想定し、地域や関係機関に対し、積極的に取組の主旨を伝えることで、予想以上に多くの協力を得ることができました。

### ● 目で見てわかる具体的なアイテムがあると伝わりやすい

(リーフレット、送付案内、写真、イラストなど)



説明だけでは… わかりにくい

アイテムがあると…わかりやすい

### ● 足を運び、顔を見て、直接話すと伝わりやすい

メール、ファックス等の通信機器は視覚的なアイテムを迅速に送るには大変便利なので、これを補助的に利用して、直接話す機会を設けると、よりよい成果につながりました。

## 今後の課題

- 「みんなで 見守りプロジェクト」の取組により、児童・生徒を取り巻く地域社会においてたくさんの成果を得ることができました。  
しかし、この1年だけで障害理解啓発が完了するわけではなく、今後も継続して積み重ねていく必要があります。
- 今後も、時流に合わせてリーフレットの掲載内容、デザイン等を更新することが望まれます。  
共生地域の実現を目指して、特別支援学校 PTA はこれまでにない視点から、新たな取組にチャレンジしてほしいと願っています。